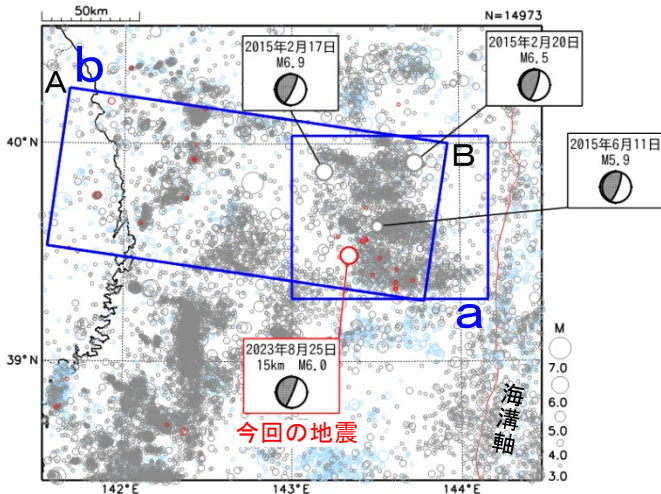
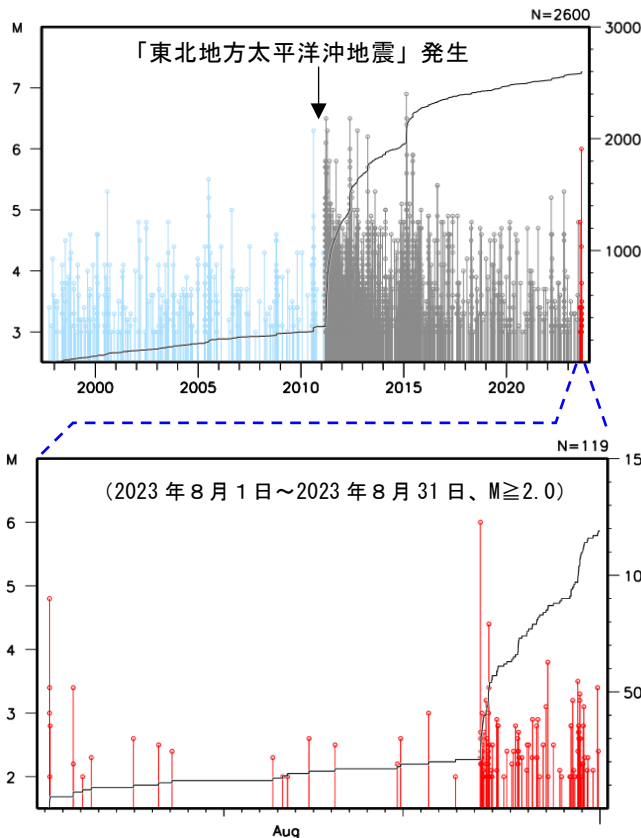


8月25日 三陸沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
1997年10月以降に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2023年8月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内のM-T図及び回数積算図



2023年8月25日07時48分に三陸沖の深さ15kmでM6.0の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

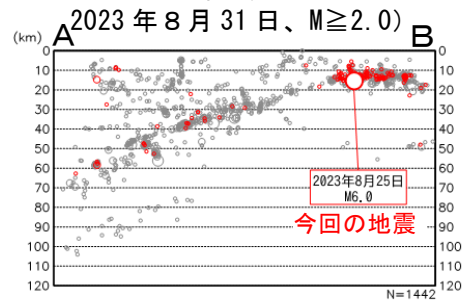
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) の発生前からM5.0以上の地震が時々発生していたが、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震発生回数が増加し、M5.0以上の地震が度々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。領域cの周辺では、「平成6年 (1994年) 三陸はるか沖地震」 (M7.6、最大震度6) も発生している。

領域b内の断面図

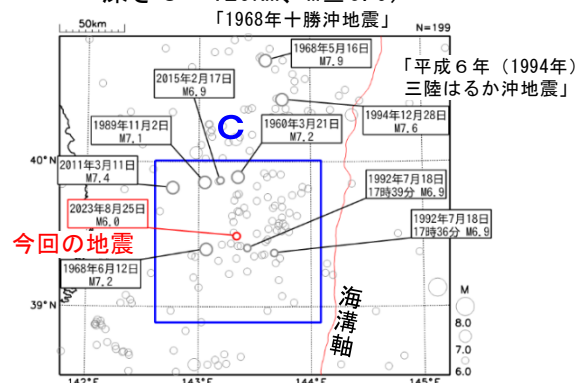
(A-B投影、

2020年9月1日～



震央分布図

(1919年1月1日～2023年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

